

# 令和7年度 栗ガ丘小学校グランドデザイン



のびゆく像

## 一 幼保小中一貫教育の推進

「エージェンシーの育成」を共通理念とし、3歳の入り口から15歳の出口まで一貫した教育課程で子どもたちの成長を支えます。

## 一 子どもの実態

言われたことに一生懸命取り組める児童が多い  
興味・関心のある活動は意欲的体を動かすことが好き  
自分で考えて行動する力が少しずつ伸びてきている

## 一 小布施町が目指す子ども像

- 1 めまぐるしく変化する国際社会を生き抜くたくましさがある子ども
- 2 家族・仲間・故郷を愛し、ふるさと小布施に誇りが持てる子ども
- 3 心身ともに健康である子ども

## 一 学校教育目標

### 自ら学び 共に伸びゆく子ども

～豊かな心とたくましい体を育て～

- ①基礎学力を身につけ、
- ②互いに認め合いながら自らの可能性を伸ばし、
- ③活動に没頭する活力ある子どもを育てる。

### 【本年度の重点課題】

**児童が自ら考え、主体的に取り組む学びづくり**

## 一 学校経営方針

どの子どもも喜んで登校する「安心・安全な楽しい学校」  
それを支える全教職員の団結力・同僚性「チーム栗ガ丘」

キーワード 「エージェンシー」 ～自ら考え、主体的に責任をもって行動する力～

## 本年度の全校研究テーマ

エージェンシーを発揮していく子どもと教師～まかせる・つなぐ・学び合う～

## 学 び づ くり

自ら考え、**試行錯誤できる学び**をつくります。

- 1 子どもに「まかせる」場面を設定し、エージェンシーを発揮できる授業を工夫します。
- 2 子どもが思わず「やりたい」「調べたい」「つくりたい」となるような素材の教材化に努めます。
- 3 各教科で子どもが「自分の問い」や「願い」から「自分の考え」を導き出し、発信する授業をつくります。
- 4 タブレット等を有効活用しながら、子どもが自主的に学習を進め、深めていけるような単元構想を大切にします。
- 5 幼保や中学校、地域の方などと子どもをつなぎ、子どもが人との関わりの中でエージェンシーを発揮できるような学習展開を工夫します。

※R7, 8年度 県「学びの改革リーディング校」指定 小布施町小中

## 心 づ くり

郷土を育む「ふるさと学習」、人間性を醸成する道徳・人権教育を大切にし、**自己肯定感を高め、豊かな心**をつくります。

- 1 あいさつ・歌声
- 2 毎日の清掃活動
- 3 本に親しみ、知識を広げる
- 4 多様な人との交流・本物に触れる

## 体 づ くり

正しい体の使い方を身につけるとともに、体力・健康づくりの習慣化を図り**たくましくなやかな体**をつくります。

- 1 「栗小体操」「ジャックナイフストレッチ」
- 2 外遊び・基礎的な体づくり
- 3 子どもが夢中になって取り組める運動・遊び

## のびゆく（総合的な学習の時間）

- 子どもの興味・関心をもとに展開する
- 子どもの気づきや思いの動きを丁寧に捉える
- 自分で決めることを大事にする
- ふるさと小布施（人、もの、こと）に積極的にかかわり、小布施のひともの・ことから学ぶ

## 各種研修

- 1 人権同和教育や特別支援教育・非違行為防止の研修
- 2 ICTの活用や信州型UDについての研修

## 特別支援教育

- 1 一人一人のニーズに対応した教育（多様性の尊重）
- 2 児童の居場所を大切にし、安心して生活できる環境の整備
- 3 通級指導教室の新設、須坂支援学校等との連携

## 連携

- 1 保護者とともに子どもを支える連携したPTA活動
- 2 地域とともに子どもを見守る小布施学園コミュニティスクール（学校応援ボランティア）等
- 3 幼保小中一貫教育